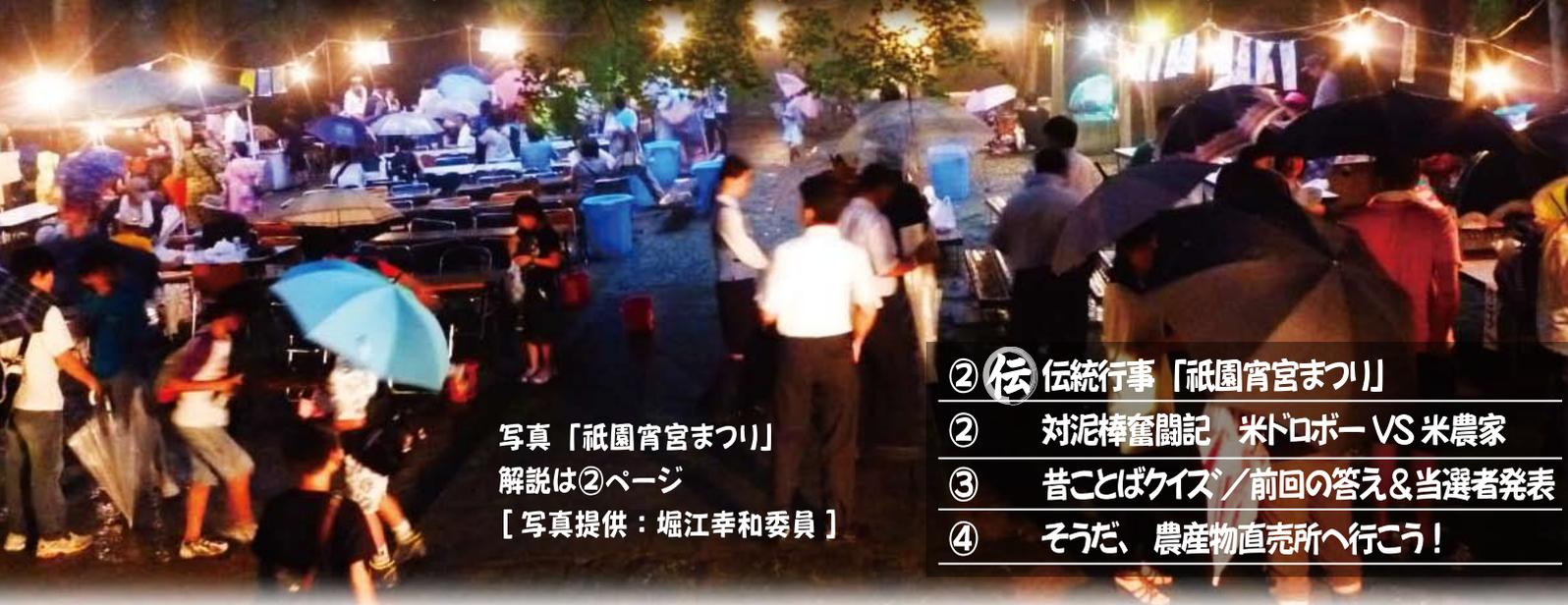


きょうたなべ のうぎょう委員会だよ!



写真「祇園宵宮まつり」

解説は②ページ

[写真提供：堀江幸和委員]

- ② 伝 伝統行事「祇園宵宮まつり」
- ② 対泥棒奮闘記 米ドロボー VS 米農家
- ③ 昔ことばクイズ / 前回の答え&当選者発表
- ④ そうだ、農産物直売所へ行こう!



私の住む天王地区は、市の南西、大阪・奈良との三国境に位置しています。市の最高標高地点である千鉾山せんぼこやま(311ぶ尺)の裾野にあり、牛頭天王ごず神像が安置されている朱智神社(本殿は京都府登録文化財指定)が見守る、市の中でも最大の面積を持つ中山間地域です。

戸数は、現在82戸、うち農家戸数は78戸で、年々、その戸数は減少傾向にあり、少子高齢化、後継者不足の問題がこの集落でも抱えています。

特産品は、ごぼう・ハチク。三度豆以外に、昼夜の寒暖の差、山の清水によって栽培されるうま味のある米が評判です。

農地については、利便性は良いところは耕作されていますが、車が入らないような不便な土地は荒廃地となり、竹林化も見受けられます。このような現状を懸念し、集落農業の将来に関するアンケート調査を全区民対象に行うなど、「人と農地の問題」についての取り組みをスタートさせましたが、区民のおよそ7割が、後継者がいないと考えていることが判明しました。

天王の農業を守るために、今あるライスセンターなどの活動組織を含め、若手を中心とした農業のあり方を模索しています。

(松本好次委員)



雲上集落「天王」 晴れた日には奈良まで見渡せる

表紙解説

京田辺で祇園祭?!

理由は…**発祥の地**だからです。



農業委員も愛読! 『全国農業新聞』
家庭菜園に役立つ記事も満載!
購読料はわずか月600円 (毎週金曜発行)
お申込みは農業委員会事務局まで!

祇園宵宮まつり

京都の祇園祭り発祥の地と言われている、天王朱智神社の祇園祭りをご存知ですか? 戦後の数年まで、神社の境内で毎年7月13日に行われており、数多くの夜店が色を添えていましたが、いつからか途絶えてしまいました。

時が進み、平成7年「普賢寺フリートーク」の皆さんの熱意で、「祇園宵宮まつり」が復活し、今日まで続いています。今年も7月13日夕刻から朱智神社で、色々な模擬店やくじ引き、金魚すくい、厄払いちまき、石段に灯すかぐや姫キャンドルなどで賑わいました。

子どもの少ない時代というのが嘘のように、たくさんの子どもの笑顔、笑い声に包まれました。国、民族関係なしに人々が歓喜する「祭り」というものは、人間社会共通の文化、そして遺産でもあると思います。祭りってホント素晴らしいですね。

(中西稔委員)



対泥棒奮闘記

米ドロボー

暑い夏が続きますが、あと2ヶ月もすれば収穫の季節がやってきます。精根込めて育て、やっと収穫した作物を、ドロボーに持っていかれる程悲しいことはありません。私の苦い体験を読んでもらって、対策に繋げて頂けたら幸いです。

あれは忘れもしない10年前のことでした。その日のうちに家に持って帰る予定が、腰痛のため1日農小屋に保管したことを、激しく後悔しました。翌朝、小屋に米を取りに行ったところ、我が目を疑いました! 昨日まで確かにそこにあった米40本(千二百kg)が忽然と消えているのです。その時のショックといったら、今でも忘れられません。

その後、スレート補強や、扉に鍵を3個取り付けたたり対策を講じました。しかしながら、敵もさることながら、鍵の元からボールのようなもので壊され、

米農家

要塞!?



またもや盗まれました。

私も何度もやられる訳にはいきません。今度は、防犯カメラ、防犯灯×2、回転灯×2、防犯ベル×2、鍵×5とまるで要塞のような防犯対策を行いました。おかげで今のところ被害はありませんが、小屋の前を通りすぎるドライバーに良く笑われます(笑)

農家の皆さん、大事な大事な収穫物をドロボーに持つていかれることのないよう、ご用心ください。

(匿名希望 委員)



農業委員が丹精込めて作った
おいし〜い

特産品

(新米・ナス・天王ごぼう)

クイズに答えてもらっちゃおう！

好評につきプレゼント増量！



農業委員 presents

京田辺では今でも年輩者の間で使われている「昔ことば」があります。
○を縦に読むと現れる農作物を答えよう！抽選で3名様に新米（6kg）・
田辺ナス（6kg）・天王ごぼう（4kg）のうち、ご希望の品目をプレゼント！

- もじ・・・「寿司」の意
- せんだ○・・・「庭」の意
- い○き・・・「ざる」の意

ヒント

夏の代表的な果物（実は野菜）
高血圧予防・動脈硬化予防・
疲労回復・むくみ解消・シミ
予防の効能があります。

前号の正解は・・・

- ①はめ（まむし）②あも（餅）③のえ（田畑）
- ④ながたん（包丁）⑤ちょうつくばる（座る）

ちよつと難しかったかな？！

沢山のご応募ありがとうございました！



当選者発表

- 西川豊子さま（田辺）
- 横村眞規さま（興戸）
- 山村千寿子さま（大住）

美味し〜い抹茶&手作り味噌
差し上げま〜す！



<応募方法>

クイズの答えと希望品目、住所、氏名、年齢、
電話番号、広報紙へのご意見・ご感想（ネタ
でも OK）をご記入のうえ、メール・郵送に
て下記の応募先までお送りください。なお、
持参されても結構です。

<応募先>

郵 送：〒610-0393

京田辺市田辺 80

農業委員会事務局 宛

メール：nougyo@kyotanabe.jp

（件名には「昔ことばクイズ」と記入してく
ださい。）

<応募期限>

平成 24 年 9 月 30 日まで（当日消印有効）

<その他>

正解者多数の場合は抽選になります。
クイズの正解と当選者は、次号で発表します。

年金加入推進部長からのお知らせ （林善嗣会長）

農業者 年金

農業者の皆さん、国民年
金だけでは老後は不安で
す。積立型の終身年金
に加入しましょう！
保険料が全額所得控除
対象など、メリットいっ
ぱいです。詳しい内容に
つきましては、事務局ま
でお気軽にお問い合わせ
ください。



利用権設定

ご存知ですか？

農地の貸し借り
安心簡単！

貸し手のメリット

- 期限がくれば必ず返還！
- 離作料の支払い不要！
- 不在地主でも貸せる

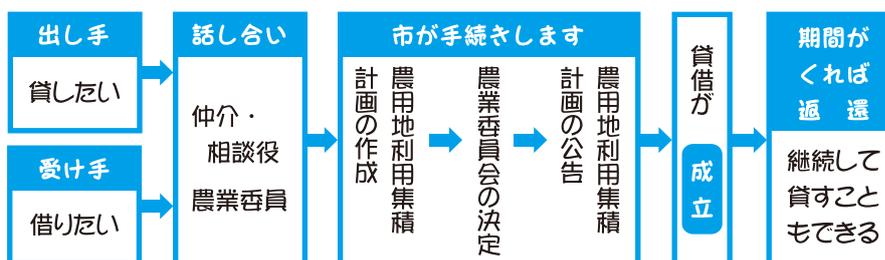
借り手のメリット

- 期間中は安心して耕作できる
- 更新しての継続耕作も可能

利用権設定とは、農業経営基盤強化法に基づく農地の貸借で、農業委員会の決定を経て市が
公告します。農地法の許可が不要で手続きも簡単です。

手続き方法

貸し手・借り手の話がまとまれば、農業委員会事務局に申請書をご提出
ください。貸し手・借り手が見つからない場合は、地域の農業委員（利
用調整推進員）にご相談ください。



注意！

次の人、農地は当制度を利用できません。

- 非農家
- 利用権設定後の耕作面積が3反未満
- 小作地
- 市街化区域内農地

耕作放棄はあきません！



③ 農地を相続した場合は、農業委員会に届出ください。耕作困難な場合はご相談を！

そうだ、農産物直売所へ行こう!

新鮮お野菜が買える直売所を紹介します

普賢寺ふれあいの駅

場所：観音寺西側、府道生駒井手線沿道（駐車場・トイレ完備）
 営業時間：火・水・木・土・日曜の週5日間 8:00～15:00



普賢寺ふれあいの駅は、本市で最も規模の大きい農産物直売所です。「普賢寺の田舎で育った農作物と、まごころと、出会いのある駅」をテーマに名称を『普賢寺ふれあいの駅』と名付けました。

この駅では、普賢寺地域で採れた旬の新鮮野菜を中心に、米、四季の花、お茶、味噌などの加工品も含め100種類以上並んでおり、大変充実しています。地元だけでなく、枚方、生駒、奈良市内などの遠方からも訪問され、お買物だけでなく、人とのふれあいを楽しみに来られる方もいます。普賢寺のみんなでお待ちしていますので、是非お越しください。

また、8月24日（18時～）には、駅で夏祭りを開催します。カラオケ大会や、スイカ割り、金魚すくい、焼き鳥など屋台も数多く出店し、お子様から年配者まで楽しめます。ご家族で夏の思い出にいかがでしょうか。（森田典子委員・山下明子委員）



充実の品ぞろえ



生産者の顔が見えるから安心!



大人気です! 抹茶チョコ&抹茶ジャム



加工品も充実!

西八さわやか朝市

場所：北部住民センター前（駐車場あり）北部住民センター
 営業時間：火曜・土曜の週2日間 7:30～12:00
 問合せ先：62-0820（藤本）



前号に引き続き紹介します。この朝市では、地元で収穫されたばかりのみずみずしい旬の野菜が並んでいます。各種ナス・枝豆・葉物・ぶどう・いちじく・トウモロコシなど種類も豊富です。この季節、一番人気があるのは完熟トマトで、私も食べましたが、甘くてジューシー、とっても美味しかったです!

今回取材に伺ったとき、レジでは行列ができるほどの大盛況でした。商品の評価は高く、利用者の口コミによって客層が広がり、最近では、地元だけでなく、八幡、城陽、宇治、枚方などの遠方からも来られるそうです。こんな、美味しい野菜が手に入る朝市が近場にあるのに、利用しないのはもったいない。安心・安全な新鮮野菜に出会える西八さわやか朝市を、一度訪れてみてはいかがでしょうか。（小田博委員）



完熟トマトが最高にうまい!



編集後記
 朱智神社と縁のある祇園祭も終わり、いよいよ本格的な夏になりました。田んぼでは、稲も一段と緑を増し元気に成長しています。
 直売所では、お米をはじめ農産物が販売され、その新鮮さが好評です。農業発展のためにも、より一層地産地消を進めたものです。
 （喜多義治委員）



こんな大根はつかだと、商売あがったりやで（泣）
 せやけど加工すれば商品になる。要は農業もアイデアっちゅうわけですわ!
 （中西稔委員）

